

学習内容	ページ	
	本書	教科書
1 世界の古代文明と宗教のおこり	2	[東書] 24~33 [帝国] 16~25 [教出] 22~31 [日文] 22~31 [育麟] 28~29, 34~37, 42~43 [山川] 16~25
2 古代国家の成立	4	[東書] 34~37 [帝国] 17, 28~31 [教出] 23, 32~35 [日文] 32~35 [育麟] 29~31, 38~39 [山川] 28~33
3 大王の時代	6	[東書] 38~39 [帝国] 32~35 [教出] 36~37 [日文] 36~37 [育麟] 40~41 [山川] 34~35
4 聖徳太子の政治と大化の改新	8	[東書] 42~45 [帝国] 38~41 [教出] 38~43 [日文] 40~45 [育麟] 46~49 [山川] 36~39
5 律令国家の成立と奈良時代	10	[東書] 46~51 [帝国] 41~49 [教出] 43~47 [日文] 45~50 [育麟] 49~57 [山川] 40~45
6 平安京と貴族	12	[東書] 52~57 [帝国] 54~59 [教出] 48~51 [日文] 52~57 [育麟] 58~61 [山川] 50~55
7 武士の台頭と鎌倉幕府	14	[東書] 66~71 [帝国] 66~71 [教出] 62~67 [日文] 68~73 [育麟] 68~74 [山川] 64~71
8 鎌倉時代の社会と文化	16	[東書] 72~75 [帝国] 70~75, 92~93 [教出] 68~71 [日文] 76~81 [育麟] 74~77 [山川] 72~75
9 モンゴルの襲来と室町幕府	18	[東書] 78~83 [帝国] 78~85 [教出] 72~77 [日文] 82~87 [育麟] 78~84 [山川] 82~85
10 室町時代の社会と東アジアとの交流	20	[東書] 84~89 [帝国] 86~95 [教出] 78~84 [日文] 88~93 [育麟] 84~87, 90~91 [山川] 86~94
11 応仁の乱と室町文化	22	[東書] 90~93 [帝国] 94, 96~101 [教出] 84~87 [日文] 94~99 [育麟] 88~89, 92~93 [山川] 94~99

1

世界の古代文明と宗教のおこり

1 人類の出現と進化

(1) 人類の出現

- ① 最古の人類である[¹]…約700万年前にアフリカに出現。後ろあし(足)で立ち、前あし(手)で道具を使う。
- ② 原人…石を打ち欠いてつくった[²]石器を使用。火や言葉を使う。
- ③ 新人(ホモ・サピエンス)…現在の人類の直接の祖先。
- ④ [³]時代…[²]石器を使い、狩りや採集を行って移動しながら生活していた時代。

(2) 新石器時代

- ① 食物の煮たきや貯蔵のための土器がつくられ、表面をみがいた[⁴]石器が使われる。
- ② 新石器時代…土器や[⁴]石器を使い、農耕や牧畜を始めた時代。

年代	できごと
約700万年前	最古の人類である猿人が現れる。
約260万年前	氷河時代に入る。氷期と間氷期をくり返す。
約240万年前	原人が現れる。
約20万年前	新人(ホモ・サピエンス)が現れる。
紀元前3000年ごろ	エジプト文明がおこる。
	メソポタミア文明がおこる。
紀元前2500年ごろ	インダス文明がおこる。
紀元前16世紀ごろ	中国に殷がおこる。
紀元前8世紀	ギリシャでポリスが成立する。
紀元前6世紀	アテネで民主政が始まる。
紀元前5世紀ごろ	シャカ(釈迦)が仏教を開く。
紀元前4世紀	アレクサンドロス大王がペルシャを征服する。
紀元前3世紀	秦の始皇帝が中国を統一する。
紀元前2世紀	漢の武帝が大帝国をつくる。
紀元前27年	ローマ帝国が成立する。
紀元前後	朝鮮半島北部に高句麗がおこる。
	イエスがキリスト教を広める。
395年	ローマ帝国が東西に分裂する。
7世紀初め	ムハンマドがイスラム教(イスラーム)を開く。

2 古代文明のおこりと発展

(1) 文明のおこり

- ① 国の誕生…農耕や牧畜が発達する。→食料をめぐる争いが増える。→強い集団が弱い集団を従えて国が誕生する。
- ② 身分の発生…支配する者(王や神官、貴族)と支配される者(農民や奴隷)。
- ③ 青銅器や鉄器…戦争や祭りに用いる。文字も発明される。

- (2) 古代文明…アフリカやアジアで、エジプト文明、[¹]文明、インダス文明、中国文明が発達。

(3) エジプト文明

- ① [²]川流域で農耕が発達し、紀元前3000年ごろ発生。
- ② 天文学の発達。1年を365日とする[³]暦、[⁴]文字の発明。
- ③ [⁵](国王の墓)や、スフィンクスの建設。

(4) メソポタミア文明

- ① 紀元前3000年ごろ、[⁶]川・[⁷]川の流域に発生。
- ② [⁸]文字、太陰暦の発明。[⁹]進法。1週間を7日とする。
- ③ ハンムラビ法典…バビロニアのハンムラビ王が法律を整備。

(5) インダス文明

- ① 紀元前2500年ごろ、[¹⁰]川流域に発生。
- ② 排水施設などを持つ都市…[¹¹]の都市遺跡。インダス文字。
- ③ 身分制度…紀元前1500年ごろアーリヤ人が先住民族を征服。身分制度(後のカースト制度)をつくる。

◆[⁴]文字



◆[⁸]文字



3 中国文明の発展

(1) 古代中国

- ① 殷…紀元前16世紀ごろ、^[1] 流域に発生。青銅器、^[2] 文字（漢字のもと）。
- ② 紀元前11世紀、周が殷をほろぼす。→紀元前8～紀元前3世紀は、多くの国が争う戦乱の時代（春秋・戦国時代）。→鉄製の兵器や農具が広まる。
- ③ ^[3] …紀元前6世紀ごろ、仁と礼で国を治めるといふ儒学（儒教）を説く。

(2) 統一帝国の成立

- ① 秦…紀元前3世紀に^[4] が中国を統一。北方の遊牧民族の侵入を防ぐため、^[5] を築く。
- ② ^[6] …紀元前2世紀の武帝のとき、朝鮮半島に楽浪郡を設け、中央アジアも支配する。^[7] (絹の道) で西アジアやヨーロッパとも交流。
- ③ 朝鮮半島北部…紀元前後に^[8] がおこる。



4 ギリシャ・ローマの文明

(1) ギリシャの都市国家とヘレニズム

- ① 地中海沿岸に、^[1] やスパルタなどの都市国家（^[2] ）が成立。→^[1] で民主政。成年男子全員が広場で民会を開く。パルテノン神殿の建設。
- ② 紀元前5世紀ごろ、^[3] 文明(演劇などの芸術、哲学・医学などの学問)が全盛期。
- ③ 紀元前4世紀、ギリシャを征服したマケドニアの^[4] 大王がペルシャを征服する。→ギリシャの文化とオリエントの文化が融合（^[5] ）。

(2) ローマ帝国

- ① 紀元前6世紀、都市国家^[6] が、イタリア半島全体を支配。貴族を中心とする共和政となる。→紀元前30年ごろ、地中海を囲む地域を統一。→同じころ、帝政となる。
- ② ^[7] 帝国…首都はローマ。ローマと各地の都市を結ぶ道路網を整備。水道や浴場、闘技場(コロッセオ)などを建設。法律や暦を整備。紀元後100年ごろに支配領域が最大。→4世紀末に東西に分裂。

◆古代ローマの支配領域の拡大



5 宗教のおこり

- (1) 仏教…紀元前5世紀ごろに生まれた^[1] が開く。

- ① 修行を積めば心の安らぎを得られると説く。
- ② 東南アジアや中国、日本に伝わる。

- (2) キリスト教…紀元前後にうまれた^[2] が広める。

- ① だれでも神の愛を受けられると説く。
- ② 教えは「聖書（新約聖書）」にまとめられた。

- (3) イスラム教（イスラーム）…6世紀に生まれた

^[3] が始める。

- ① 唯一神アッラーを信仰し、神の像の礼拝を禁止。聖典は「^[4]」。
- ② アラビア半島から西アジアや北アフリカ、東南アジアに広まる。

◆宗教のおこり



▲仏教、キリスト教、イスラム教（イスラーム）は「三大宗教」と呼ばれる。

2 古代国家の成立

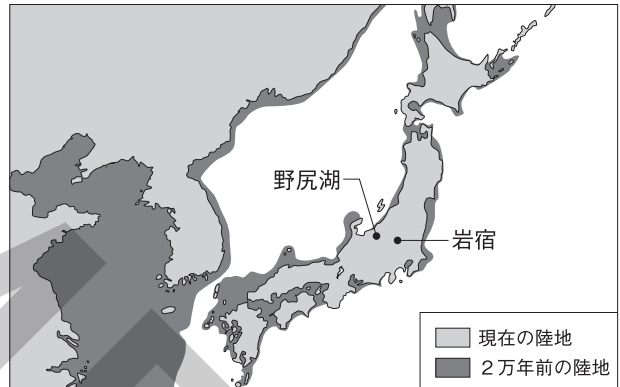
1 日本列島の誕生

(1) 日本の旧石器時代

- ① 氷河時代…大陸と陸続きになっていた時代に、日本にもマンモス、ナウマンゾウ、オオツノジカなどの大形の動物が住んでいた。
 - ② 大形動物を追って日本列島に移り住んできた人々は石を打ち欠いた^[1] 石器を使用。
 - ③ [1]石器を付けたやりで狩りをし、獲物を追って移動。簡単な小屋や岩陰などに住んで、火を使って暮らす。
 - ④ 遺跡…^[2] 湖(長野県)→ナウマンゾウのきばやオオツノジカの角。
^[3] 遺跡(群馬県)→黒曜石で作られた[1]石器。日本に旧石器時代があったことが証明された。
- (2) 約1万年前に氷期が終わると、海面が上昇し、大陸からはなれ日本列島ができる。

年代	できごと
約1万数千年前	縄文時代が始まる。
約1万年前	日本列島が大陸からはなれる。
紀元前4世紀	弥生時代が始まる。 このころ、稲作や金属器が伝わる。
紀元前後	朝鮮半島北部に高句麗がおこる。
57年	倭の奴国の王が金印を授かる。
2世紀末ごろ	卑弥呼が邪馬台国の女王になる。
3世紀	中国で三国時代が始まる。
239年	卑弥呼が魏に使いを送る。

◆2万年前の日本列島



2 縄文文化

- (1) ^[1] 土器…約1万数千年前からつくり始める。厚手で、黒褐色をしている。表面に縄目のような文様が付けられていることが多い。
- (2) 縄文時代…[1]土器が用いられていたころの文化を縄文文化といい、この時代を縄文時代という。
 - ① 氷期が終わり気温が上がって、植物の栽培が始まったが、食料が豊富なため狩りや採集によって食料を得ることが多く、農耕や牧畜は発達しなかった。
 - ② ^[2] …海岸や水辺にできた、食べ物の残りかすなどを捨てたあと。
 - ③ ^[3] …地面をほりくぼめて柱を立て、◆[3]
その上に屋根をかけた住居。人々は集団で定住するようになった。
 - ④ 大人になったことを示す抜歯。死者の霊の災いを防ぐためといわれる屈葬。
 - ⑤ ^[4] …土製の人形。魔よけや食物の豊かさをいのるときに使われたと考えられる。
 - ⑥ 遺跡…^[5] 遺跡(青森県)、大森貝塚(東京都)など。



3 やよい 弥生文化の成立

- (1) 稲作の伝来…紀元前4世紀ごろ、[¹] が大陸（おもに朝鮮半島）から九州北部に伝わる。
- ① 人々は水田近くに住みをつくり、たて穴住居に住む。
 - ② [²] …ねずみや湿気を防ぐためにつくられた倉庫。収穫した米などをたくわえる。
 - ③ 稲の穂をかり取るために[³] を利用。
- (2) 金属器の伝来…稲作とともに金属器が大陸から伝わる。
- ① 青銅器…豊作を神に祈るなど祭りのための宝物（銅鏡、銅鐸、銅剣、銅矛など）。
 - ② [⁴] …武器や工具、農具として用いられる。
 - ③ [⁵] 土器…高温で焼かれるため赤褐色をした、薄手がかための土器。
- (4) 弥生時代…稲作や金属器が伝来し、[5]土器がつくられたころの文化を弥生文化といい、この時代を弥生時代という。（弥生時代の始まりを紀元前10世紀ごろとする説もある。）
- (5) 遺跡…[⁶] 遺跡（佐賀県）、登呂遺跡（静岡県）など。

4 や ま たい ごとく 国々の誕生と邪馬台国

- (1) 国々の誕生
- ① 稲作が盛んになると貧富の差ができ、社会のしくみが変わる。支配者の誕生。
 - ② 小さな国々ができ、人々を支配する有力者や王が出現。
 - ③ 『漢書』…紀元前1世紀ごろ、[¹]（日本）には100余りの国があり、楽浪郡を通じて漢に使いを送る国もあった。
 - ④ 『後漢書』…1世紀半ばに、[1]の[²]の王が、漢（後漢）に使いを送り、皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた[³]を授けられる。
- (2) 邪馬台国
- ① 中国…3世紀に漢（後漢）がほろび、魏・蜀・呉の三国が争う（三国時代）。
 - ② 女王[⁴]…まじないなどによって邪馬台国を治める。倭の30ほどの国を従える。中国の[⁵]に朝貢し、皇帝から「親魏倭王」の称号と金印を授けられる（魏志倭人伝）。
・朝貢…中国に周辺の支配者が使いを送り、皇帝に貢ぎ物を差し出す。支配者として認めてもらった。
- 邪馬台国のあった場所は、近畿（奈良盆地）説と九州説とに分かれている。近畿にあったとする説→のちの大和政権につながる勢力と考えることができる。

●『漢書』地理志（部分要約）

（紀元前1世紀ごろ）楽浪郡の海のかなたに倭人がいて、100以上の国をつくっており、なかには定期的に漢に朝貢する国もある。

●『後漢書』東夷伝（部分要約）

建武中元2（57）年に倭の奴国が後漢に朝貢したので、光武帝は印綬（印とそれを結びとめるひも）をおくった。…桓帝と靈帝のころ（2世紀）、倭はおおいに乱れ、長い間代表者が定まらなかった。

●『魏志倭人伝』（部分要約）

倭にはもともと男の王がいたが、その後国内が乱れたので一人の女子を王とした。名を卑弥呼といい、成人しているが夫はおらず、一人の弟が国政を補佐している。…卑弥呼が死んだとき、直径が100歩余りもある大きな墓をつくった。